

# 委員会の活動状況

## 予算決算委員会

委員長 芦原美佳子

12月9日、12日、13日、16日、17日に開催しました予算決算委員会に付託されました案件は、議案10件でした。

### ◇主な審査内容

#### ◎第56号議案

福祉文教分科会では、子宮頸がんワクチン接種について質疑があり、「令和6年4月から10月までの接種回数は、定期接種572回、キャッチアップ接種1,494回で、計2,066回。11月以降は約2,000回の接種を見込み、今年度は合わせて4,000回、約1億1500万円の接種費用を見込んでいる」との答弁でした。

都市環境分科会では、市営バス指定管理料が440万円増額した内訳について質疑があり、「これまで14名で運行していたが、今回の基準適用により一人当たりの就労時間の短縮に伴う、28日分の乗務員不足に対応するため」との答弁でした。

#### ◎第73号議案

総務分科会では、人件費補正の財源となる財政調整基金繰入金、約3億円に関する質疑があり、「国の補正予算案には、地方交付税増額分も盛り込まれ、人事院勧告に伴う、給与改定分の対応についても、令和6年度中に追加交付される見通しである。今回の交付税予定総額は、過去の実績推計等から約3.4億円、その内、人事院勧告への対応分として、約1.5億円程度を見込んでおり、交付されれば約1.5億円は財政調整基金に戻す」との答弁でした。

### ◇審査結果

第56号、第57号、第58号、第59

号、第60号議案は、全員賛成、第73号、第74号、第75号、第76号、第77号議案は、賛成多数で可決しました。

## 福祉文教委員会

委員長 櫻井直樹

12月12日に開催しました福祉文教委員会に付託されました案件は、議案3件、陳情1件でした。

### ◇主な審査内容

#### ◎第65号議案

改正後は、尾張旭市以外の住民が利用する場合の利用料金は、1.5倍とあるが、市内企業の従業員や市内高校生など、利用者が市内在勤・在学で、市外在住の場合があるが、その扱いについて質疑があり、「申請者が、市内在住か、市外在住かで、判断していく」との答弁でした。

#### ◎第66号議案

使用料を増額する理由、営利目的と非営利目的の判断基準、増額費用の使用目的などについて、質疑があり、「暮らし政策課が所管する市内コミュニティ拠点施設でも、営利目的の利用については、3倍とする予定なので、市内の施設を統一した対応をする必要があるため料金を変更する。また、営利、非営利については、窓口でフローチャートなどを使って確認する。増えた使用料収入については、修繕費に使用する」との答弁でした。

### ◇審査結果

第65号、第66号、第67号議案は、全員賛成により可決しました。

陳情第17号の2は、委員会協議会において、趣旨説明があり、その後の委員会審査において、賛成少数で不採択としました。

## 都市環境委員会

委員長 市原誠二

12月13日に開催しました都市環境委員会に付託されました案件は、議案5件、陳情1件でした。

### ◇主な審査内容

#### ◎第69号議案

新たな市道が今後抜け道になる恐れに伴う安全対策について質疑があり、「状況は都度確認していく」との答弁でした。

#### ◎第70号議案

共同事業体へ委託することによるメリットについて質疑があり、「それぞれの持つ専門分野を生かした維持管理が可能となる」との答弁でした。

#### ◎陳情第18号

実現には地元自治会、町内会等との調整が必要など各委員から意見が出されました。

### ◇審査結果

第64号、第68号、第69号、第70号、第71号議案は全員賛成で可決しました。また、陳情第18号は賛成なしで不採択としました。

## 総務委員会

委員長 山下幹雄

12月16日に開催しました総務委員会に付託されました案件は、議案6件、陳情1件でした。

### ◇主な審査内容

#### ◎第61号議案

条例制定の背景と制定における効果について質疑があり、「第六次総合計画のまちづくりの基本方針に効果的に取り組むため、市長の考えの下令和7年4月に行政組織を変更するもので、スポーツについて、教育の分野にとらわれず、より幅広い本市の施策や事業と一

体的に推進を図る。健康づくり事業の効果的な推進や、スポーツ関連の民間事業者との連携が考えられる」との答弁でした。

#### ◎第79号議案

人事院勧告と報酬審の関係性について質疑があり、「人事院勧告については、一般職の給与改定として、報酬審では参考としている」との答弁でした。

#### ◎第80号議案

人事院勧告を精査して出されたと思うが、本市独自の情勢調査は行われていたかとの質疑があり、「本市の場合、人事委員会はないので、基本的には国の人事院勧告を重視して改定をしている」との

答弁でした。

#### ◇審査結果

第61号、第62号、第63号、第72号、第80号議案は全員賛成、第79号議案は賛成多数により可決しました。また、陳情第17号の1は賛成なしで不採択としました。

## 議会運営委員会

委員長 谷口武司

12月19日に開催しました議会運営委員会に付託されました案件は、議案1件でした。

#### ◇主な審査内容

##### ◎第78号議案

月例給与と期末手当について、県内各市の対応についてどのように

なっているかとの質疑があり、「名古屋市及び本市を除く36市の対応予定として、期末手当については、全ての市が0.05月引上げで、令和6年12月の期末手当から適用される。月例給については、報酬審の答申まで終えて、本市と同様に引上げが6市、報酬審を開催しないため据置きとなる予定が18市、報酬審の開催前のため未定が12市となっている」との答弁でした。

#### ◇審査結果

第78号議案は賛成多数により可決しました。

# 委員会の行政調査報告

## 議会運営委員会

委員長 谷口武司

10月22日・23日に茨城県取手市及び神奈川県藤沢市を訪問し、行政調査を行いました。

取手市では、「ICTを活用した議会災害対応訓練」について行政調査を行いました。

取手市議会は令和2年初めからの新型コロナウイルス感染症拡大期において、4月に議員個人端末での「議会災害対策会議」を開催、8月にタブレット端末を導入、11月にオンライン委員会の開催、12月にオンライン表決システムの導入など議会におけるICT活用の先進自治体です。その取手市におけるICTを活用した災害対応訓練では、「やってみよう!」の精神の下、位置情報を公開に設定した個人のスマートフォンを含むICT機器を使用し、地図アプリで被

害状況などの写真を共有できる訓練が行われていました。個人のスマートフォンの使用や災害状況写真の議会事務局との共有といったICT機器の活用について参考となりそうです。



取手市にて

藤沢市では、「カフェトークふじさわ」について行政調査を行いました。

藤沢市議会は平成25年に議会基本条例を施行し広報広聴委員会を設置、平成30年には同条例の（広報広聴機能の充実）における条文中の「議会報告会を開催する・・・」を「議会報告会等を開催する・・・」として、

幅広い開催手法とすることができるようになっていました。この改正によりこれまでの市政への苦情・議員個人への質問・報告会に関係のない質問等が散見された議会報告会から、名称やチラシ、ワールド・カフェ方式を採用した親しみやすく和やかな雰囲気の見聞交換会が開催されていました。大学のゼミ生をファシリテーターとした見聞交換会の開催、コロナ禍での「Onlineカフェトークふじさわ」の開催など議会報告会の自由度は参考になりそうです。



藤沢市にて

## 総務委員会

委員長 山下幹雄

10月31日に刈谷市を訪問し、「移動設置型トイレ『トイレトレーラー』の導入」について行政調査を行いました。

導入費用は、約1400万円でクラウドファンディングも利用し資金を募ったとのことでした。また、維持費用は、車検の費用

等のみで多くはかからないが、全体経費を圧縮するため、派遣や移動等はプロドライバーに委託するのではなく、職員内でドライバーを調達しており、運行に必要な免許取得費用も計上しているとのことでした。

災害時における清潔なトイレの重要性を再認識する行政調査となり、支援派遣などで地方自治体間の連携や助け合いの必要

性を強く感じ、本市においても参考とするよう提言していきたいです。



刈谷市にて

## 令和6年度尾張旭市議会防災訓練を実施

尾張旭市議会では、大規模災害等が発生した場合、迅速な意思決定と多様な市民ニーズに対応できる議会機能の維持に必要な組織体制や議員の行動基準などを定めた尾張旭市議会BCP（業務継続計画）を令和6年5月に策定しました。

令和7年1月22日、尾張旭市議会BCP（業務継続計画）策定後、初の議会防災訓練を実施しました。

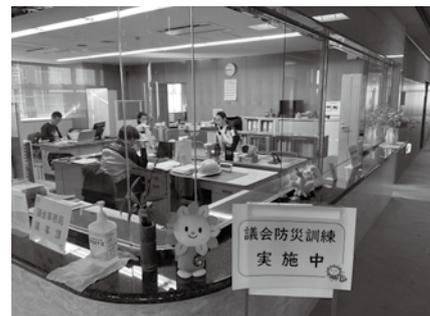
### ● 概要

【第1部】 開庁時（本会議・委員会開会中以外）の大規模地震発生を想定した訓練

- ・ 尾張旭市議会災害対策本部設置訓練
- ・ 災害情報送受信訓練
- ・ 安否確認等の報告訓練
- ・ 参集訓練
- ・ 尾張旭市議会災害対策本部会議開催訓練

【第2部】 防災講座

- ・ 尾張旭市危機管理課による防災講座（テーマ「災害に備えよう」）



議会防災訓練実施中



被害状況報告の様子



尾張旭市議会災害対策本部会議及び防災講座の様子